

canopus

無料体験版 付録

30日間試用できます

体験版では、「MPEG形式でのキャプチャ機能」、「オーディオCDからの録音機能」、「DVDへのライティング機能」をご利用いただくことができません。また、製品版に付属する「静止画・動画素材集」も付録しませんので、予めご了承ください。

”超” 高速MPEG&DV編集ソフトウェア



ウルトラエディット

Ultra EDIT

のすすめ

「はじめて」から「達人」まで



ビデオの編集・加工

パーフェクトマスター!

※ 従来品の30倍速のMPEG編集

新開発

『マシバゲージ』採用。

※ MPEGデータのシークタイム当社仕様

超高速MPEG編集を 実現するUltra EDIT 新登場!



■ ビデオ編集がとっても簡単に

超編集 Ultra EDIT (ウルトラエディット)は、映像を並べたり、不要な部分をカットしたり、タイトルなどを重ねたりするビデオ編集の作業をマウス操作で簡単に行うことができます。

■ 軽快な動作でラクラク編集

高いCPU性能を備えていなくても、ビデオ編集を快適に行うことができます。複数の映像やタイトルを重ね合わせられる場合でも、その結果をすぐに再生・確認できます。

■ MPEGの編集に対応

DVIに加え、MPEG1/2形式のファイルでキャプチャと編集ができます。新開発の「マッハサーチ機能」で、AVIと同様の軽快なMPEG編集を実現。テレビチューナー内蔵パソコンなどで録画した映像や、MPEG形式で記録するビデオカメラの映像などを活用することができます。

■ 高度な編集も可能な高機能

シンプルで直感的に使える一方で、高度な編集機能も搭載しています。

■ 音楽CDのリッピングに対応

■ DVD-Rへの直接記録に対応。 チャプター作成機能も搭載。

MPEG & DV
高速キャプチャ

MPEG

DV



新開発!
「マッハサーチ」
同時にMPEGデータを
読み出して、高速編集が可能!
MPEG編集の常識を変える
新テクノロジー!

従来の
30倍速!



DVD作成まで
サポート

ニーズによって選べる! 豊富なラインナップ

カーネーションテレビチューナー
製品のユーザー様に
超編集 Ultra EDIT 優待版

Let's EDIT ユーザー様に
超編集 Ultra EDIT
アップグレード版

インストール対象製品のシリアル
番号が必要。対象製品はホームページで確認ください。

Let's EDIT RT for DVStorm / DVReX及び
ACEDVシリーズなどのLet's EDITがバンドル
された製品のユーザー様が対象です。

デスクトップPCに最適!
DV/アナログ入出力ボード付属
超編集 Ultra EDIT
with ACEDV

ノートパソコンに最適!
IEEE1394 PCカード付属
超編集 Ultra EDIT
with ACEDV Mobile

超高速リアルタイム編集!
DVStorm 3ボード付属
超編集 Ultra EDIT
with DVStorm

DVD作成も高速に!
DVStorm 3ボード+StormEncoder
超編集 Ultra EDIT
with DVStormDVD

各1,000本限定

超編 Ultra EDIT とは ...

「超編 Ultra EDIT（読み方：「ウルトラエディット」）」は、当社が長年培ってきた“高画質ビデオ編集技術”と新開発『マッパゲーチ』による“高速な MPEG 編集エンジン”を駆使した、超高速ビデオ編集ソフトウェアです。

ビデオのキャプチャー・場面転換効果・タイトル・色調整・子画面合成・スローモーション... などなど、豊富な編集機能が全てリアルタイムに動作します。また、DVD 作成も可能でビデオ編集がオールインワンで楽しむことができます。

「超編 Ultra EDIT」は、新開発「マッパゲーチ」により、従来品の 3.0 倍速以上の速度で MPEG データが扱えるうえ、劣化の少ない高画質処理を実現しました。^{※1}

従来のビデオ編集製品は、DV(AVI)形式での編集を主体としており、MPEG 形式の映像編集は、軽快さに乏しく画質も悪いなど、副次的な扱いで実用性には乏しい物がありました。

また、ビデオ編集製品は、本格的なビデオ編集製品（操作に習得が必要、MPEG 編集が苦手）と初心者向け（リアルタイム性が犠牲になり、本格的な編集が苦手）など二極化されていました。

「超編 Ultra EDIT」は、わかりやすいインターフェースと快適な操作性、MPEG / AVI を意識する必要のない実用的な編集環境の実現により、録画した TV 番組の CM カットといった簡単な編集から、様々な編集機能を活用した本格的なビデオクリップの作成まで、幅広い用途でご利用いただけるビデオ編集ソフトウェアです。

■ 従来の当社ビデオ入出力ハードウェアの専用ビデオ編集ソフト（RexEdit, StormEdit, RaptorEdit, EzEdit, Let's EDIT）で作成したプロジェクトも読み込み可能です。^{※2}

※1：当社計測値（ビデオ編集画面で MPEG 画像に一般的な編集（タイトルや場面転換）を行ったときのレスポンスの差（Pentium4 2.2GHz を使用）

※2：StormEdit の 3D RT トランジションには対応していません。

超編 Ultra EDIT のすすめ

- | | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | ウルトラエディットの操作画面 | 2 |
| 2 | 録画と基本編集操作 | 4 |
| 3 | タイトルの作成 | 6 |
| 4 | トランジションでシーンをつなぐ | 8 |
| 5 | ビデオフィルターによる演出効果 | 10 |
| 6 | 特殊な映像合成 | 12 |
| 7 | DVD 作成／テープへのダビング他 | 14 |
| 8 | マッパゲーチのしくみ | 16 |

1. ウルトラエディットの操作画面

開く

ハードディスクに保存された編集プロジェクト（タイムライン及びビジュアル素材）を読み込みます。ウルトラエディットで作ったプロジェクトのほか、RevEdit、StormEdit、RaptorEdit、EdEdit、Let's EDIT などで作成したプロジェクトも読み込み可能です。

クリップ追加

このボタンで、ハードディスク上の素材（動画・静止画・音声など）をウルトラエディットに読み込む。

キャプチャ設定

録画する映像の画質を決めるボタン。DV（AVI）とMPEG1、MPEG2を切り替える。

プレビューウィンドウ

編集映像やカメラの映像が映る。自由なサイズに変更でき、フルスクリーンにすることも可能です。

ビデオコントローラー

ビデオカメラとタイムラインの再生/停止/ポーズ/コマ送り&戻し/巻き戻し/早送りなどの操作を行います。録画操作もここで行う。

タイムラインスケール

タイムラインの表示単位を変更するスライダー。一番左が1/30秒表示（1コマ単位で表示）で、右に動かすと単位が大きくなります。一番右はタイムライン全体が表示されます。

基本編集ライン（Main AV）

基本編集用（常に前詰めで配置される）。動画・静止画などが配置できる。トランジションはこのラインで行う。

フリー編集ライン（Insert AV）

上書き編集用（自由な位置に配置できる）。子画面合成やクロマキー合成をする場合に使う。

タイトル編集ライン（Title01 ~）

文字合成用（最大10本）。

音声編集ライン（Ex Audio1 ~）

音合成用（最大10本）。BGM・効果音・ナレーションなどに使う。

ボリューム調整

映像・音声のボリュームは、自由な位置で上げ下げができます。このサンプル画面では、オーディオクリップがフェードインしています。

入力されたタイトル

タイトルを作ると、このような帯状のマークで出ます。このサンプル画面ではタイトルの前後に斜線部分があります。ここはタイトルエフェクトです。



CDから録音

オーディオCDのトラックをハードディスクに保存します。

DVD作成

編集したタイムラインをチャプター付きのDVDに出力します。DVDの画質はここで設定する。

ファイル書き出し

編集したタイムラインをハードディスクにファイル出力します。
出力可能動画ファイル：DV(AVI)、DVCAM(AVI)、MPEG1、MPEG2、WMV、QuickTime、RealMedia



ビンウィンドウ

編集に使う素材を読み込む場所。

●動画 (DV、MPEG1、MPEG2) ●音声 (WAV) ●静止画 (BMP、DB、RLE、FPX、GIF、JPG、JPEG、JFF、PIC、PCT、PICT、PNG、PNTG、PNT、MAC、PSD、QTI、QTF、SGI、RGB、TGA、TARGA、VDA、IBC、VST、TF、TFF、TDF) ●その他 (カラークリップ、タイトルデータ)

トランジション

シーンの変わり目に効果を加える28種類 (プリセット：300種類以上) のトランジション。ページターンなどの3D機能もあり、くせになるほど面白い。

マイク録音

ナレーションなどを録音します。アフレコ機能搭載で、作った映像を再生しながらマイク録音が行えます。(ライン入力にも対応)

ビデオフィルタ

映像・静止画に特殊効果を適用します。子画面合成/クロマキー合成/モノクロ/モザイク/色調整/ぼかし/残像効果/オールドムービー (フィルム調のビデオに変換) など、強力なビデオフィルタは30種類!

タイトル作成

グラデーション、ふちどり、影、3Dなど様々な設定が可能なタイトル機能。タイトルラインは10本も用意されているので、タイトル作りは思いのまま!

設定されたチャプター

この数字は、DVDを作成した時のチャプター番号になります。(自由な位置に設定可能。また、自動設定により1分毎など間隔の設定が可能)

追加されたトランジション

クリップの変わり目に効果を加えるトランジション。この重なり部分に効果が加わります。トランジションは自由な長さに設定可能です。(1フレーム単位に長さの変更が可能)

2. 録画と基本編集操作

1 ビデオカメラをつなぐ

IEEE1394 端子とDVカメラをDVケーブルで接続し、カメラの電源をデッキモードにしてください。

カメラを接続すると「デジタルビデオデバイス」が認識され、動作するソフトの選択画面が表示される場合があります。そのような画面が表示されたときは「何もしない」を選択してください。



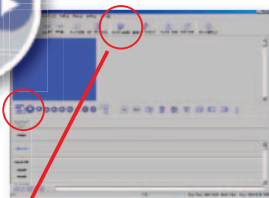
カメラを準備して IEEE1394 につなぐ

2 コントロールモード切替

コントロールボタン左の「カメラ」ボタンをクリックし、カメラ制御モードに切り替えます。

※再生などのボタンを押すとビデオカメラの中にあるテープの映像が表示されます。

カメラモードに切り替え



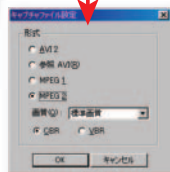
3 キャプチャ映像の画質設定

「キャプチャ設定」ボタンをクリックし、録画する映像の画質を選択します。

【画質の種類】

AVI 2 で録画すると、画質は劣化しますが、13GB/1時間程度のハードディスクを使います。用途に合わせ、MPEG での圧縮録画も使用してください。

キャプチャする画質を設定



録画フォーマットの設定

4 キャプチャ開始

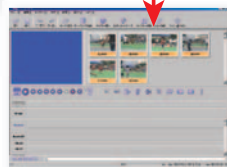
ビデオテープを録画位置に合わせ、「録画」ボタンをクリックすると同時にキャプチャがスタートします。

ウルトラエディットは、自動的にシーンの変わり目を判別しながらキャプチャします。(撮影時の録画開始位置でファイルを自動分割する) これにより、録画が終了すると、複数のクリップがピンに登録されます。

「録画」ボタンでキャプチャ開始



自動録画



自動的にピンウィンドウに登録される。

5 CDから曲を録音

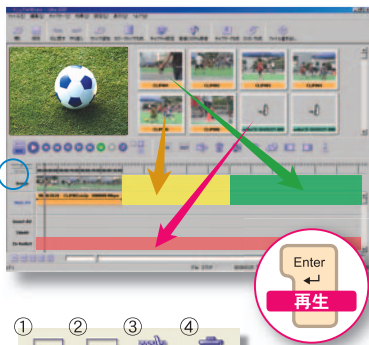
オーディオ CD を CD-ROM ドライブに入れ、「音楽 CD から録音」ボタンをクリックします。録音したいトラック番号をチェックし、「開始」ボタンで録音が始まります。録音が終了すると、自動的にピンに音声登録されます。



6 タイムラインに並べる

タイムラインに録画した映像・音声を並べます。「Main AV ライン」に配置したクリップは自動的につながります。編集したクリップをどんどん並べましょう。

画面にビデオが入りきらなくなったら、タイムゲージを変更して、1 画面に表示されるビデオの長さを長くして、編集をしやすくしましょう。



7 不要なシーンをカットする

タイムラインカーソルをカットしたい位置に移動し、右の 4 つのボタンで作業します。



① IN 点の設定

「ここから使いたい」という位置にタイムラインカーソルを移動して、このボタンを押すと、ここから前のシーンがカットされます。

② OUT 点の設定

同様に「ここまで使いたい」という位置を表し、ボタンを押すと、ここから後ろのシーンがカットされます。

③ クリップの分割

このボタンを押すと、1 つのクリップが 2 つに分割され、それぞれ別のクリップとして扱えるようになります。例えば 1 時間のテレビ番組から CM をカットしたい場合は、CM 部分はこのボタンで分割し、④で対象部分を削除します。

④ クリップの削除

タイムラインからクリップを削除します。

★これらの機能は、編集画面上のデータをカット／削除しているもので、ハードディスクの映像には影響がありません。何でもやり直しが可能です。

★クリップの端をマウスでつまみ、自由にカット位置を変更することもできます。

★クリップの上で、マウスの右クリックをするとメニューが表示され、上記 4 つ含めた様々な機能が利用できます。

達人

キーボード操作を使いこなそう！

コマ戻しとコマ送り (1フレーム)

Enter

再生

← →

クリップジャンプ

Home End

巻き戻しと早送り

Shift + ← / →

再生開始位置ジャンプ

Back Space

※くりかえし同じシーンを見たい時などに便利。

3. タイトルの作成

1 タイトル画面を開く

タイムラインカーソルをタイトルを入りたい位置に移動し、「タイトル」ボタンをクリックするとタイトル入力画面に切り替わります。

2 文字を入力して基本設定をする

キーボードから文字を入力し、フォントや文字サイズ、ボールド、イタリックなどワープロソフトと同じような感覚で文字設定をします。

3 位置を調整

マウスで自由な位置に移動可能です。「プレビュー」ボタンで、完成品のイメージを確認しながら位置を合わせましょう。

4 色の調整

文字の色、縁取りの色、影の色の3つのパーツに分けて、それぞれ最高4色までのグラデーション、透過率が設定可能です。(グラデーションは「プレビュー」ボタンをクリックすると反映されます。)

★縁取りでは、カチッとした[ハードエッジ]と、ぼかし効果の[ソフトエッジ]があります。

5 エフェクト設定

タイトルは、INとOUTに動きを付けられます。フェードやスライドなどの一般的な効果に加え、レーザー効果やぼかし効果などもあります。

- 2 キーボードで文字を入力し、好きな位置に移動する。
- 3 「プレビュー」ボタンで仕上がりをチェック。

キーボードで好きな文字を入力しましょう。

おめでとう！日

つぎへて移動する

おめでと

これらは、製品版の「付録の素材集」に280以上も収録されているタイトル用サンプル素材です。

達人

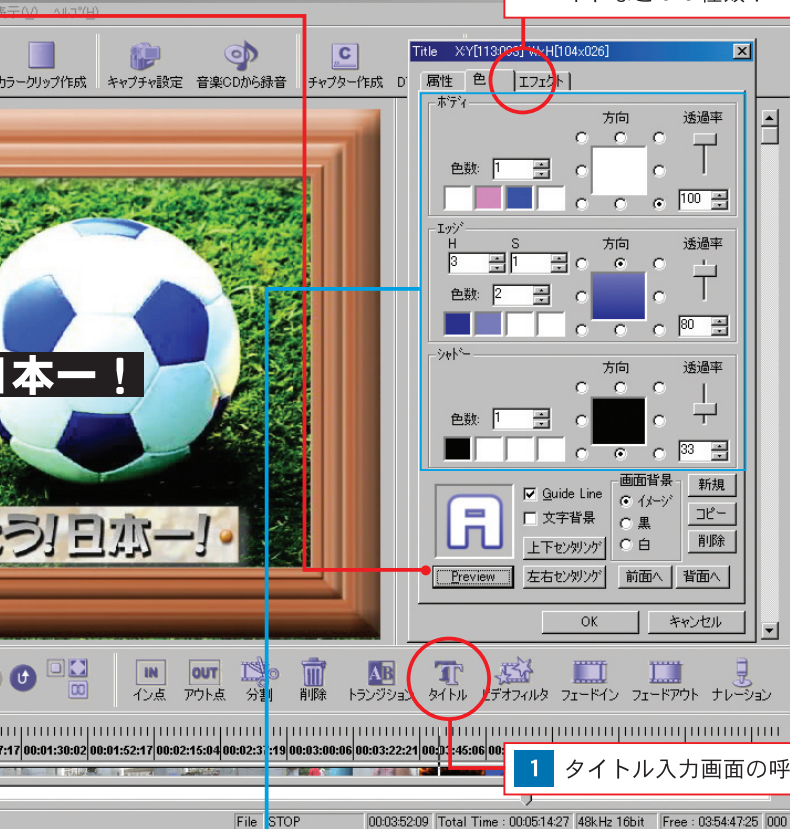
設定画面の右下の「新規」ボタンをクリックすると、新しいテキストボックスが作られ、タイトルをパーツに分けて作成できます。また「新規」ボタンでは、静止画を読み込むこともできるので、グラフィックソフトなども活用できます。(アルファチャネル付き静止画に対応しています。) ※タイトルトラックは最大10本。



3

タイトルの作成。

5 タイトルのフェードインやスライドなど35種類！



1 タイトル入力画面の呼び出し。

4 タイトルに色をつける。



このサンプルでは、との2色を使った矢印方向のグラデーションと、白でサイズがに設定したソフトエッジが使用されています。



達人

ウルトラエディットのタイトル機能には、「エンボス」と呼ばれる機能があり、作ったタイトルを後ろから押し出して立体的にすることができます。「エンボス」は、「属性」タブで設定できます。



エンボスが設定された文字

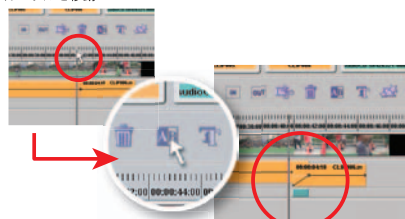


4. トランジションでシーンをつなぐ

1 トランジションボタン

タイムラインカーソルをクリップのつなぎ目に移動し、「トランジション」ボタンをクリックすると、タイムラインが右のようになります。

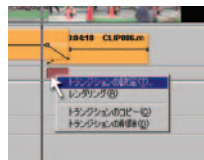
カーソルを移動



トランジションが設定される。

2 トランジションを変える

初期値はディゾルブ効果（シーンが混じり合って変わってゆく一般的な効果）が設定されます。トランジションマークを右クリックし、メニューから「トランジションの設定」を選択します。



トランジションマークを右クリックし、メニューを開く。

3 基本的なトランジション

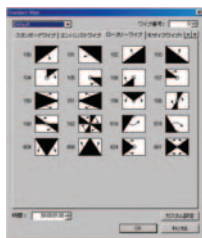
好きなパターンを選んで「OK」ボタンをクリックします。パターンは300種類以上。基本パターンを使いこなしたら、右ページの3D効果にもチャレンジしよう！



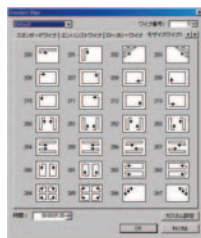
スタンダードパターン



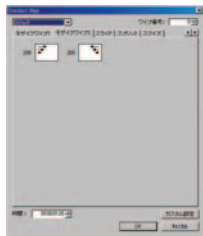
ハート・星パターン



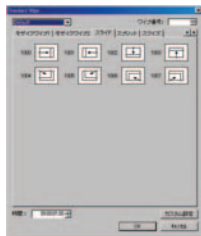
回転パターン



モザイクパターン
(ブロック状に切れ変わる)



モザイク追いかけパターン



スライドパターン



伸び縮みパターン



ワイプパターン

4 3D トランジションを使う

「カスタム設定」ボタンをクリックすると、トランジション設定画面が切れ変わり、3D パターンなどが選択できます。使いたいトランジションを選択し、「設定」ボタンから詳細な調整を行えます。「カスタム設定」を選ぶ

箱に映像が貼られて飛んでゆく～



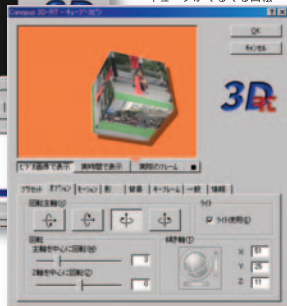
ブラインドが順番に回転



紙が風に飛ばされる～



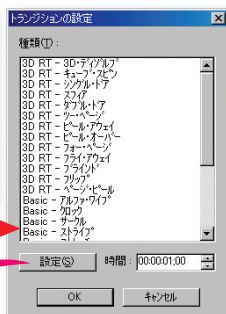
キューブがぐるぐる回転



定番。ページターン効果



映像がパネルに貼り付いて回転



「3D RT ~」と表示されているトランジションが 3D 機能です。

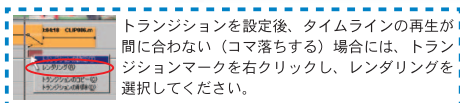
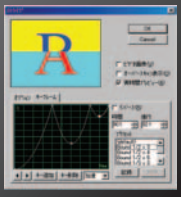
4

トランジションでシーンをつなぐ。

達人

ウルトラエディットのトランジションには、キープフレームと呼ばれる機能があり、トランジションのスピードを自由に変更できます。

このサンプルは上から下への「スライド」効果にキープフレームが設定され、スライドしてきた映像が2回バウンドするように設定されています。



トランジションを設定後、タイムラインの再生が間に合わない(コマ落ちする)場合には、トランジションマークを右クリックし、レンダリングを選択してください。

5. ビデオフィルターによる演出効果

ビデオフィルタは26種類も用意されており、明るさ・色合い調整はもちろん、モザイクやソフトフォーカス、残像効果、オールドムービー（わざと映像にノイズやぶれ、ぼかしを入れてフィルムのな映像にする）など様々なシーンを演出できます。このテキストでは、映像をセピア色に変える方法をご紹介します。

1 ビデオフィルタ画面を開く

「ビデオフィルタ」ボタンをクリックし、設定画面を呼び出します。

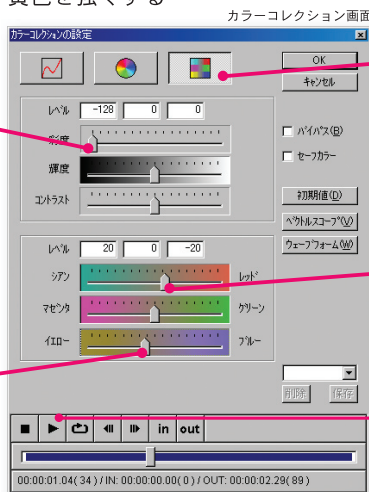
2 カラーコレクションを使う

「カラーコレクション」→「追加」→「設定」ボタンの順で操作すると、カラーコレクション画面が表示されます。

3 セピア色に変更する

以下の手順で操作します。

- ① 画面のモードを変える。
- ② モノクロにする。
- ③ 赤を強くする。④ 黄色を強くする



② 彩度をつかんで一番左に動かす

④ 少しだけ左へ。セピア色の完成。

① ココをクリックして画面を変える

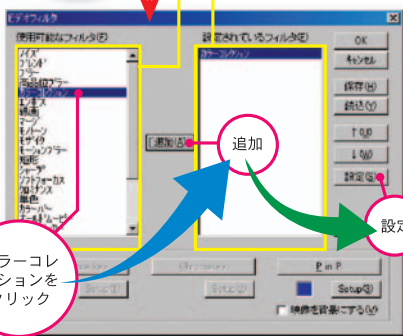
③ 少しだけ右へ。赤っぽくなります。

リアルタイムに再生しながら設定することもできます。



フィルタの種類

追加したフィルタ
同時に複数が使用可能です。



ビデオフィルタ画面

カラーコレクション画面

4 その他のビデオフィルタ



■ソフトフォーカス

あわいフォーカスを加えます。結婚式や子供のビデオなど、思い出ビデオで大活躍。



■ブラー

ぼかし効果。わざと映像をぼかし、派手なタイトルを合成して作品のオープニングなどに使うこともあります。



■モーションブラー

映像に残像が残ります。このサンプルは、ボールに向かってズームしている映像に対してモーションブラーが設定されています。



■クロミナンス

特定の色にだけフィルタを適用することができます。ボールの青色が赤色に... この映像、マウス操作1つで簡単に作れます。



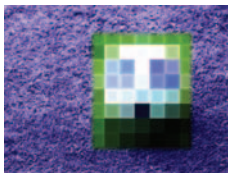
■シャープネス

エッジをハッキリとさせるシャープ効果。極端に強い設定を行うと、インパクトのある映像も演出できます。



■エンボス

映像を壁画イメージに変換するエンボス効果。主に静止画などに対して使用することが多いです。



■矩形(くけい)

映像の一部分にフィルタを適用することができます。このサンプルではボールがモザイク処理され、外側は紫色になっています。



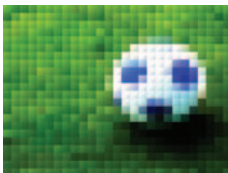
■オールドムービー

映像が、昔のフィルムビデオのようになります。思いでビデオの演出には欠かせないビデオフィルタです。



■トンネルビジョン

映像の中心点に向かってスピードを出して近づいて行くようなこの映像。アニメのワープみたい。どんなシーンにしようかな？



■モザイク

モザイクにも種類はいろいろ。パネル、ワッフル、球面、台形など使い方次第でお洒落なビデオも演出できます。

5

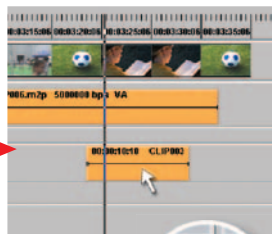
ビデオフィルタによる演出効果。

6. 特殊な映像合成

ウルトラエディットには、2つの映像を合成する特殊ビデオフィルタが3種類(子画面合成、クロマキー合成、ルミナンスキー合成)用意されています。このテキストでは、子画面合成の操作手順をご説明します。

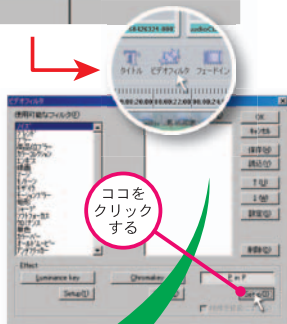
1 タイムラインでの準備

右のように、インサート AV ラインに素材を配置します。



2 ビデオフィルタ画面を開く

タイムラインカーソルがインサート AV に置いたクリップの上にある状態で、「ビデオフィルタ」ボタンをクリック、「P in P」→「Setup(3)」ボタンをクリックしましょう。



3 子画面の位置・サイズ

下図のように子画面をつかんで自由な位置に移動・サイズ変更ができます。



達人

子画面合成機能は、メイン AV ラインのクリップにも適用でき、例えば2画面並べて再生することが可能です。

更に、子画面以外の場所(左のサンプルでは例えばボールの辺り)をクリックすると、次々とムービングパスが設定でき、左右上下斜め、どんな場所にも子画面を移動再生させることができます。※途中で子画面の大きさを変えることも可能です。チャレンジしてみましょう！

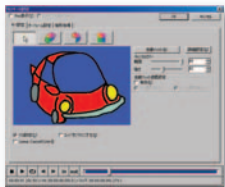
4 子画面の装飾

子画面には、透過率、縁取り、影、エフェクト（フェード／スライド／ズーム）などを設定することが可能です。



5 その他の合成（クロマキー）

クロマキー合成は、特定の色を透明にして合成する方法です。右のサンプルでは、車の絵の背景（青色）が透明になり合成されています。



6 その他の合成（ルミナンスキー）

ルミナンスキー合成は、色の明るさを基準に合成する方法です。右のサンプルでは、炎の映像の背景（暗い部分）が透明になり合成されています。



6

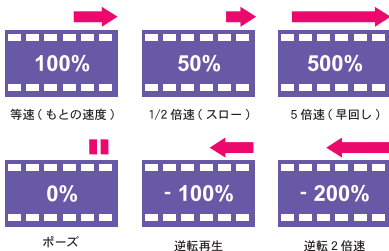
特殊な映像合成。

超 スロー・クイック・逆転再生

タイムラインに配置した映像・音声は、そのスピードを自由自在に変更できます。変更したクリップの上でマウスの右クリックをし、メニューから「スピードの設定」を選びましょう。



スピードの設定は、100%が等倍速です。数字を小さくするとスローモーションになり、大きくすると早回しになる。また、マイナスにすると逆転再生になります。



7. DVD作成／テープへのダビング他

1 チャプター設定画面

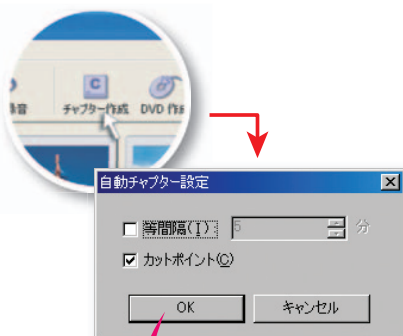
ウルトラエディットでは、チャプター付きDVDビデオを作ることができます。「チャプター設定」ボタンをクリックし、右の「自動チャプター設定画面」を呼び出します。

2 チャプターをつくる

自動チャプター機能では、等間隔（分単位）でチャプターをつくる方法と、クリップの切れ目でつくる方法の2種類があります。

3 チャプターが設定される

「OK」ボタンをクリックし、タイムラインに戻ると、右のようにチャプターが設定されます。



4 チャプターの調整

設定したチャプターは、移動、削除が自由に行えます。

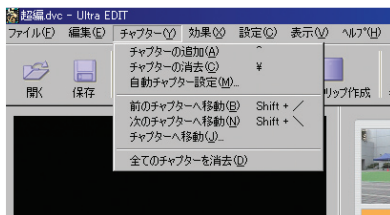


チャプターをつかんで位置を移動

右クリックから「削除」もできる

5 チャプターの手動設定

また「チャプター」メニューを開き、自由な位置への追加や削除、前後のチャプターへのジャンプが行えます。



チャプターメニュー

7 DVD作成画面

次に「DVD作成」ボタンをクリックし、右の「DVD出力設定」画面を呼び出します。

8 DVD出力設定

●「イメージ設定」では、書き込み前にディスクイメージをハードディスクへ作る設定を行います。通常の出力は「自動」を選択します。

●「出力設定」では、出力画質、DVDドライブ名、DVDのラベル名を指定します。※画質設定は次の通りです。(高画質=8Mbps、標準画質=5Mbps、時間優先=3Mbps)

●「デバイス設定」では、書き込み速度と書き込み後のエラーチェックの有無を選択できます。

9 DVD出力

最後に「OK」ボタンをクリックすれば、DVDが作成されます。

10 DVテープへダビングする

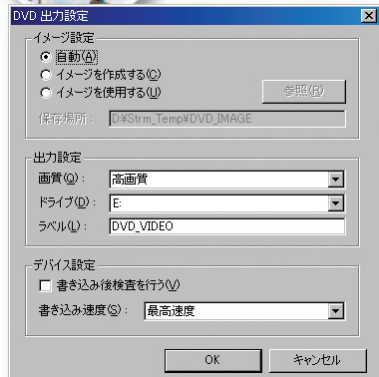
IEEE1394 端子にDVカメラを接続し、ダビングするテープを入れます。

※使用済みテープにダビングする場合は、予めダビングを開始したい位置でテープを停止させておきます。

続いて、「シンクレック」ボタンをクリックすれば、タイムラインの映像がすべてテープへ自動録画されます。

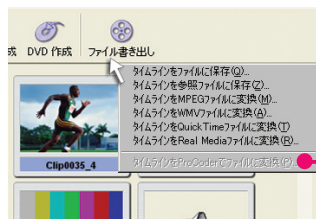


「シンクレック」
ボタン



11 ファイルへの出力

完成したビデオは、ファイルへの出力も可能です。





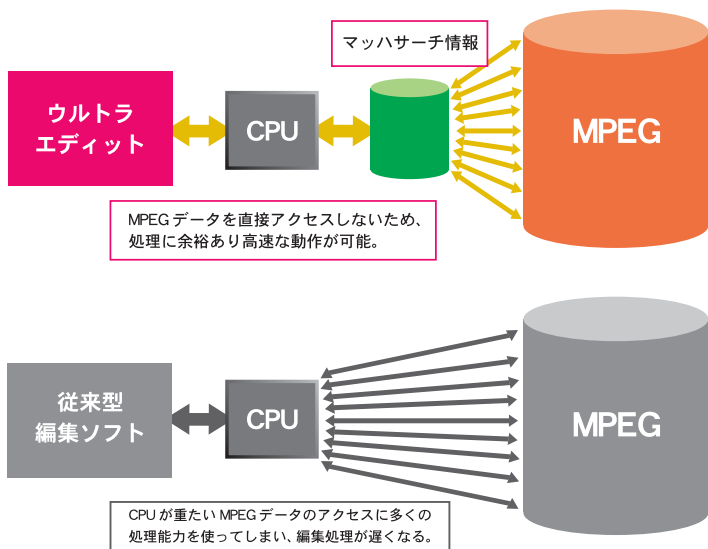
達人

フォーマット変換ソフトウェア「ProCoder Express (定価: ¥8,800)」を使うことで、DivX Video や DirectShow 経由の各種ビデオファイルへの出力が可能です。

8. マッハサーチのしくみ

一般に MPEG 形式の動画は、その構造上ランダムなデータの読み出しが苦手で、ソフトウェアでカットするなどの加工を行うと極端にデータの読み出しが遅くなり、「ビデオの編集には向いていない重たいフォーマット」と言われてきました。

これを解消する為に、従来の MPEG データの他に、高速読み出し用の特殊な情報ファイルを生成し、直接的に MPEG データにアクセスしないことで、高速に MPEG データを扱うことができる技術が、カノープスの新テクノロジー「マッハサーチ」です。



1 マッハサーチを使うには

ウルトラエディットのキャプチャー機能を利用してキャプチャした MPEG 動画は、自動的にマッハサーチ情報が作成されます。別のソフトでキャプチャした MPEG や既存の MPEG は、ピンウィンドウに読み込んだ後、右クリックメニューから「情報ファイルの作成」を行ってください。



8・9

マッハサーチのしくみ／体験版 CD-ROM

体験版 CD-ROM は、操作などのサポートを一切お受けいただけません。
体験版 CD-ROM は、実際の製品と異なり一部機能に制限があります。



主要機能一覧表

お得なパッケージ

超編 Ultra EDIT 優待版 価格:¥12,800

【以下ハードウェアをお持ちの方が対象です。】

MTVX, MTV, MTU, QSTV, 豆ちゅ〜, DVStorm, DVraptor,
EZDV, DVTX 各シリーズ全モデル

超編 Ultra EDIT アップグレード版 価格:¥4,800

【以下製品をお持ちの方が対象です。】

ACEDVシリーズ, Let's Stationシリーズ(ST/EX), Let's EDIT,
Let's EDIT RT for DVStorm

※Let's EDIT Entryは、対象製品に該当しません。

超編 Ultra EDIT
¥19,800超編 Ultra EDIT
with ACEDV
¥34,800超編 Ultra EDIT
with DVStorm
¥22,800超編 Ultra EDIT
with DVStorm
オーファン超編 Ultra EDIT
with DVStorm DVD
オーファン

ビデオキャプチャ・CD録音

- ・DV/MPEG1/MPEG2形式でのキャプチャ
- ・シーン自動分割キャプチャ/パッチキャプチャ機能
- ・マイク録音/オーディオCDから曲を録音

☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒

ビデオ編集機能

- ・リアルタイムビデオ編集機能
- ・DV/MPEG混在編集
- ・テープ出力、各種ビデオファイル出力機能
- ・DVD出力機能

タイトル、オーディオミックス、スロー、ビデオフィルタ(色調整、モザイク他 26種)、オーディオフィルタ(トランジションワイプ、スライド、3D他 300パターン以上)、子画面、クロマキーなど

☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☒

ハードウェア

- ・ハードウェアのタイプ
- ・DV入出力
- ・アナログ入出力
- ・ハードウェアMPEGエンコーダー
- ・リアルタイムビデオ出力時のアクセラレーション
- ・IEEE 1394機器の接続(OHCI機能)

☐
☐
☐
☐
☐
☐
☒
☒
☐
☐
☐
☒
☒
☒
☐
☐
☐
☒
☒
☒
☒
☒
☒
☐
☒
☒
☒
☒
☒
☐

その他

- ・Premiere リアルタイムビデオ編集プラグイン機能
- ・AfterEffects, Photoshop, NewTek LightWave3D
ビデオ出力プラグイン機能

☐
☐
☐
☐
☐
☐
☒
☒
☒
☒

Copyright © 1996-2004 Canopus Co., Ltd. All Rights Reserved. ●予告なく仕様の一部を変更することがあります。●カノプス製品の名称はカノプス株式会社の商標または登録商標です。●Microsoft、Windows は米国Microsoft Corporationの商標です。●Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。●CeleronはIntel Corporationの登録商標です。●DivX、DivX 商標及び関連するロゴは、DivXNetworks社の商標であり、許可を得て使用しています。●Adobe、Premiere、AfterEffects、Photoshopはアドビシステムズ社の登録商標です。●LightWave 3D は米国 NewTek 社の登録商標です。●iLINK® 及びそのロゴは商標です。●その他の商品名は各社の商標または登録商標です。

【著作権にご注意ください】本カタログ掲載製品を使用して他人の著作物を録音・録画する場合、個人的に著作物を使用する目的で複製等を行うことを除き、著作権を侵害することになります。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。著作権者から許諾を得て複製編集等を行う必要があることを十分に留意ください。また、本カタログ掲載製品を使用して作成・複製・編集される著作物、またはその副生物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。